

音楽科の目標

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 - (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

志木第二中学校音楽科研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業のあり方
～「見方・考え方」を働かせた学習指導の工夫～

評価の観点及びその趣旨

- 【知識・技能】**
- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
 - ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
- 【思考・判断・表現】**
- 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- 【主体的に学習に取り組む態度】**
- 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期	題 材 名	主 教 材
1 学 期	○新しい仲間とともに、混声合唱の響きを味わって歌おう（歌唱） ○情景を想像しながら聴こう（鑑賞） ○表現したいイメージをもって旋律をつくろう（創作） ○アルトリコーダーの響きを味わって合わせて演奏しよう（器楽）	・校歌・若駒讃歌・夢の世界を ・「四季」から 春 第1楽章 ・CFG Cのコード進行をつかう ・聖者の行進・オーラリー ・アニーローリー
2 学 期	○箏の音色や響きを味わって演奏しよう（歌唱・器楽・鑑賞） ○豊かな混声合唱の響きを味わって歌おう（歌唱） ○音楽のもつ豊かな表現力を味わって聴こう（鑑賞） ○情景を想像しながら曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おう（歌唱）	・姫松・六段の調べ ・音楽祭クラス曲 ・歌曲「魔王」 ・浜辺の歌・赤とんぼ
3 学 期	○日本の伝統音楽に親しみ、その魅力を味わって聴こう（鑑賞） ○アジアの諸民族の音楽に親しみ、その魅力を味わって聴こう（鑑賞） ○日本の民謡に親しみ、その魅力を味わって歌おう（鑑賞・歌唱） ○曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おう（歌唱）	・雅楽「越天楽」 ・ガムラン・カヤグムほか ・ソーラン節・南部牛追い歌 ほか ・夜明け・大地讃頌 ・語り合おう

音楽科の目標

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 - (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

志木第二中学校音楽科研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業のあり方
～「見方・考え方」を働かせた学習指導の工夫～

評価の観点及びその趣旨

- 【知識・技能】
- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
 - ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
- 【思考・判断・表現】
- 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期	題 材 名	主 教 材
1 学 期	○情景を思い浮かべ、詩と音楽のかかわりを理解して歌おう（歌唱） ○曲の構成を理解し、旋律の重なりを味わって聴こう（鑑賞） ○表現したいイメージをもって旋律をつくろう（創作） ○アルトリコーダーの響きを味わって合わせて演奏しよう（器楽）	・夏の思い出 ・時の旅人 ・フーガ短調 ・和音の音をつかってつくる ・ラヴェースコンチェルト ・威風堂々 ・ふるさと
2 学 期	○箏の音色や響きを味わって演奏しよう（歌唱・器楽） ○豊かな混声合唱の響きを味わって歌おう（歌唱） ○曲の構成を理解し、その魅力を味わって聴こう（鑑賞） ○情景を想像しながら曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おう（歌唱）	・さくらさくら ・音楽祭クラス曲 ・交響曲第5番ハ短調 ・荒城の月
3 学 期	○楽器の音色を理解し、その魅力を味わって聴こう（鑑賞） ○日本の伝統音楽に親しみながら、その特徴を生かして歌おう（鑑賞・歌唱） ○曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おう（歌唱）	・協奏曲 ・アンサンブル ・文楽 ・夜明け ・大地讃頌 ・語り合おう

音楽科の目標

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 - (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

志木第二中学校音楽科研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業のあり方
～「見方・考え方」を働かせた学習指導の工夫～

評価の観点及びその趣旨

- 【知識・技能】
- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
 - ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
- 【思考・判断・表現】
- 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期	題 材 名	主 教 材
1 学 期	○日本の歌がもつ情緒を味わって歌おう（歌唱） ○オペラに親しみ、その魅力を味わって聴こう（鑑賞） ○表現したいイメージをもって旋律をつくろう（創作） ○アルトリコーダーの響きを味わって合わせて演奏しよう（器楽）	・花、花の街、早春賦 ・オペラ「カルメン」 ・ハ長調の音階を使って旋律をつくる ・ふるさと（四重奏）
2 学 期	○箏の音色や響きを味わって演奏しよう（歌唱・器楽） ○豊かな混声合唱の響きを味わって歌おう（歌唱） ○情景を想像しながら曲想を感じ取り、味わって聴こう（鑑賞） ○日本の伝統音楽に親しみながら、その特徴を生かして歌おう（鑑賞・歌唱）	・さくらさくら ・音楽祭クラス曲 ・交響詩「我が祖国」よりブルタバ ・歌舞伎「勧進帳」
3 学 期	○曲想や特徴を感じ取り、味わって聴こう（鑑賞） ○曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おう（歌唱）	・バレエ音楽（白鳥の湖、くるみ割り人形 ほか） ・あなたへ ・大地讃頌